

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
 TEL: 03-3259-3111(代表)
 www.ms-ins.com

2015年1月15日

～企業が語るいきものがたりPart 8～

企業と生物多様性に関するシンポジウムを開催

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜）は、2月24日に企業と生物多様性に関するシンポジウム「企業が語るいきものがたりPart 8」を開催します。

本シンポジウムは2007年から毎年度開催しており、8回目となる今回は、昨年10月に韓国のピョンチャンで開催されたCOP12（生物多様性条約第12回締約国会議）の成果と課題、愛知目標の達成状況を踏まえ、企業に期待される役割・行動について考えていきます。また、分科会では企業の関心が高い3つのテーマ「企業緑地を活用した生物多様性保全」、「生物多様性に配慮した持続可能な原材料の利用」、「生物多様性から見た国土保全」について、参加者の皆さまと一緒に考えていきます。

当社は、今後も「一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）」への参加をはじめとして、生物多様性の保全活動を推進していきます。

シンポジウムの概要

- 主催：三井住友海上火災保険株式会社
- 後援：環境省、経団連自然保護協議会
- 特別協力：一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、株式会社インターリスク総研
- 日時：2015年2月24日（火） 13:30～17:30
- 場所：三井住友海上 駿河台ビル（千代田区神田駿河台3-9）
- プログラム：＜第1部＞（13:40～14:50）

- ＜第1部＞ COP12（生物多様性条約第12回締約国会議）の論議内容、成果と課題、愛知目標の達成状況を踏まえて企業に期待される役割・行動
- ＜第2部＞ 企業の具体的な取り組みに関する3つの分科会（15:05～16:40）

分科会	分科会1	分科会2	分科会3
テーマ	企業緑地を活用した生物多様性保全	生物多様性に配慮した持続可能な原材料の利用	生物多様性から見た国土保全
内容	工場版、マンション版もリリースした「いきもの共生事業推進協議会」の活動や、東京都が推進する「江戸のみどり復活事業」との連携など、企業緑地を活用した生物多様性保全に関する具体的な取組事例を紹介します。	JBIB作成の「生物多様性に配慮した原材料調達推進ガイド」を踏まえ、社内推進、サプライチェーンとの連携等の基本プロセスの概要説明に加え、先進企業における最新の取組の進展事例を紹介します。	昨今の災害状況や国土保全の観点を踏まえ、生物多様性に配慮した森づくりや流域にも配慮した事業所等の水管理が、国土の強靱化につながることを企業の取組事例を含めて紹介します。

- ＜第3部＞ 分科会のまとめ（16:55～17:25）

- 参加費：無料
- 定員：200名（先着順）
- 締切日：2月13日（金）必着
- 問い合わせ先：三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室（倉持・秋葉）
 TEL：03-3259-1329 E-mail：kankyokoken@ms-ins.net

添付別紙：企業が語るいきものがたりPart 8「生物多様性保全に配慮した持続可能な開発と生物資源の利用に向け、企業が果たすべき役割・行動～COP12の成果と課題を踏まえて～」

以上

生物多様性保全に配慮した持続可能な開発と生物資源の利用に向け、 企業が果たすべき役割・行動

～COP12の成果と課題を踏まえて～

日時： 2015年2月24日(火) 13:30～17:30 (開場13:00)

会場： 三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール

開催の趣旨

三井住友海上が主催する本シンポジウムは、企業が生物多様性の取り組みを推進するための情報提供の機会として、2007年から毎年度開催し、ご好評をいただいています。

今回は、昨年10月に韓国のピョンチャンで開催されたCOP12（生物多様性条約第12回締約国会議）の成果と課題、愛知目標の達成状況を踏まえ、企業に期待される役割・行動について考えていきます。続く分科会では企業の関心が高い3つのテーマ「企業緑地を活用した生物多様性保全」「生物多様性に配慮した持続可能な原材料の利用」「生物多様性から見た国土保全」について、参加者の皆さまと一緒に考えていきます。

本シンポジウムが、企業の皆さまのお役に立てば幸いです。

プログラム

※都合によりプログラムを変更する場合があります。

主催者代表挨拶 (13:30～13:40) 三井住友海上火災保険(株) シニアアドバイザー 秦 喜秋

第一部 (13:40～14:50)

- COP12の主要論議内容、成果、課題を踏まえて企業に期待する役割・行動
環境省 自然環境局 生物多様性地球戦略企画室長 奥田 直久氏
- NGOから見たCOP12の成果と愛知目標の達成状況、企業に期待すること
公益財団法人 日本自然保護協会 (IUCN日本委員会) 道家 哲平氏

第二部 (15:05～16:40)

個別テーマごとに、パネルディスカッション方式で分科会を行います。関心ある分科会にご参加ください。

	分科会1	分科会2	分科会3
テーマ	企業緑地を活用した生物多様性保全	生物多様性に配慮した持続可能な原材料の利用	生物多様性から見た国土保全
コーディネーター	竹中工務店 三輪 隆氏	資生堂 田口 邦彦氏	インターリスク総研 原口 真氏
内容	工場版、マンション版もリリースした「いきもの共生事業推進協議会」の活動や、東京都が推進する江戸のみどり復活事業との連携など、企業緑地を活用した生物多様性保全に関する具体的取組事例を紹介。	JBI B作成の「生物多様性に配慮した原材料調達推進ガイド」を踏まえ、社内推進、サプライチェーンとの連携等の基本プロセスの概要説明に加え、先進企業における最新の取組の進展事例を紹介。	昨今の災害状況や、国土保全の観点を踏まえ、生物多様性に配慮した森づくりや流域にも配慮した事業所等の水管理が、国土の強靱化につながることを企業の取組事例等を含めて紹介。

第三部 (16:55～17:25)

●分科会まとめ

コーディネーター： (株)レスポンスアビリティ 代表取締役 足立直樹氏

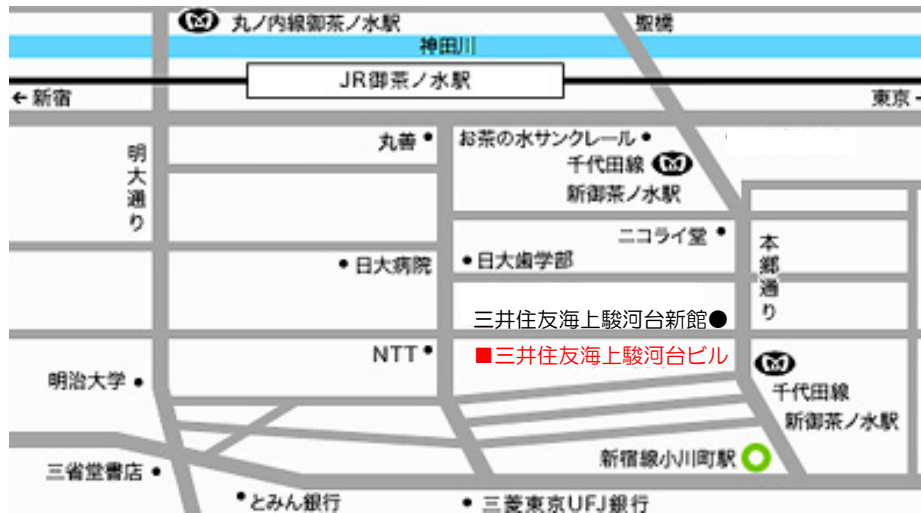
パネリスト： 各分科会コーディネーター

開催概要

- 【日時】 2015年2月24日（火） 13:30～17:30（開場13:00）
【会場】 三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）
最寄駅：JR「御茶ノ水駅」徒歩5分、千代田線「新御茶ノ水駅」・都営新宿線「小川町駅」
B3・B3a 出口徒歩2分、丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩6分
※地図をご参照ください。
※ご来場の際は公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- 【定員】 200名
（応募者多数の場合は先着順。お申し込みの方には参加の可否を返信メールでご連絡します）
- 【対象者】
・企業のCSR・環境部門、事業部門・調達部門の方など
・生物多様性を活動の柱にしているNGO、NPOの方
・生物多様性に興味を持たれている一般の方
- 【参加費】 無料

主催：三井住友海上火災保険株式会社 後援：環境省、経団連自然保護協議会
特別協力：一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、株式会社インターリスク総研

本シンポジウムは、生物多様性の保全に積極的に取り組む国内企業（現在55社）の集まりである
「企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）」の全面的なご協力のもと企画運営しています。



【お申込方法】

- 以下URLからお申し込みください。
<https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/364>
三井住友海上TOP > セミナー情報 > セミナー一覧「企業が語るいきものがたり」> 申込
- ネット環境のない方は、以下お問合せ連絡先まで、お電話にてお申し込みください。
- 申込締切 2月13日（金）
※お申込みが定員（200名）を超過した場合は先着順とさせていただきます。
※第二部では会場等の都合でご希望の分科会に参加できない場合がございます。予めご了承ください。

参加申込時にお預かりした個人情報につきましては、弊社の情報管理規程等に基づき、安全かつ適正に管理させていただきます。

お問合せ
連絡先

三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室
「生物多様性シンポジウム」事務局（担当：倉持、秋葉）行
E-mail: kankyokoken@ms-ins.net Tel: 03-3259-1329